

2-2 宿泊客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内に宿泊する人の来名目的や遊覧状況等について把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

平成 19 年 11 月 1 日 ～11 月 30 日

③調査方法

この調査は、予め調査票を宿泊施設の客室等に設置し、宿泊者が記入した上でフロントに提出するという方法で行った。

④調査宿泊施設

施設の区分（登録ホテル、ホテル、旅館）や施設の規模、立地場所を勘案して、以下の 20 施設に協力していただきました。

・登録ホテル 11 施設

ウェスティンナゴヤキャッスル、名鉄グランドホテル、ホテルアソシア名古屋ターミナル、ホテルキャッスルプラザ、ロイヤルパークイン名古屋、名鉄ニューグランドホテル、名古屋観光ホテル、名古屋国際ホテル、名古屋東急ホテル、サイプレスガーデンホテル、名古屋マリオットアソシアホテル

・ホテル 7 施設

東京第一ホテル錦、名古屋ガーデンパレス、全日空ホテルズホテルグランコート名古屋、ナゴヤローレンホテル、名古屋笠寺ワシントンホテルプラザ、ホテルサンルートプラザ名古屋、ホテル大名古屋温泉

・旅館 2 施設

つちやホテル、旅館浅野屋

⑤調査件数

●合 計：405 サンプル

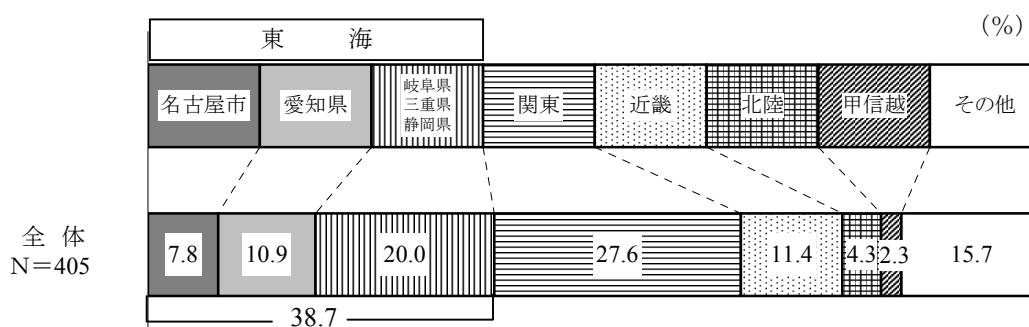
(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

宿泊客の居住地構成としては、全体では「名古屋市」が 7.8%、「愛知県（名古屋市を除く）」が 10.9%、「岐阜県、三重県、静岡県」が 20.0%であり、合わせて「東海」地域が 38.7%となっている。

「東海」地域外では、「関東」地域が 27.6%と多く、「近畿」地域は 11.4%、「北陸」地域は 4.3%、「甲信越」地域は 2.3%である。



注：愛知県は名古屋市を除く

図 2-2-1 宿泊客の居住地構成

b. 性・年齢構成

年齢は、全体では「20～29 歳」(30.3%)と「30～39 歳」(29.6%)が多く、以下「40～49 歳」(15.1%)、「50～59 歳」(13.5%)、「60～69 歳」(8.2%)となっている。

性別は、男性が 53.8%、女性が 46.2%と、男性の方が女性より若干多い。

性別に宿泊客の年齢をみると、男性では「30～39 歳」(31.3%)を中心に 20 歳代～60 歳代に分散しているが、女性では「20～29 歳」(39.3%)、「30～39 歳」(29.0%)の割合が多い。

表 2-2-1 宿泊客の性・年齢構成

(単位：%)

	10～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70 歳 以上	合計
全 体	1.0	30.3	29.6	15.1	13.5	8.2	2.3	100.0
男 性	1.0	23.7	31.3	20.3	13.0	9.7	1.0	53.8
女 性	1.1	39.3	29.0	9.1	13.6	4.5	3.4	46.2

注：男性、女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

宿泊客の旅行目的としては、「観光施設の見学」(19.8%)をはじめ「ショッピング」(9.9%)、「観劇・コンサート」(8.9%)などの「観光・娯楽」の割合が合わせて54.4%と過半数を占め、「商用・公用」が14.6%、「帰省・冠婚葬祭」が13.6%、「大会・会議に参加」が8.7%となっている。

時系列にみると、この3年間では「観光・娯楽」、「帰省・冠婚葬祭」の割合がそれぞれ増加し、「商用・公用」の割合が減少している。

性別にみると、男性では「商用・公用」の割合が24.2%と比較的多い。女性では「観劇・コンサート」(13.6%)、「帰省・冠婚葬祭」(16.4%)の割合が男性に比べ多い。

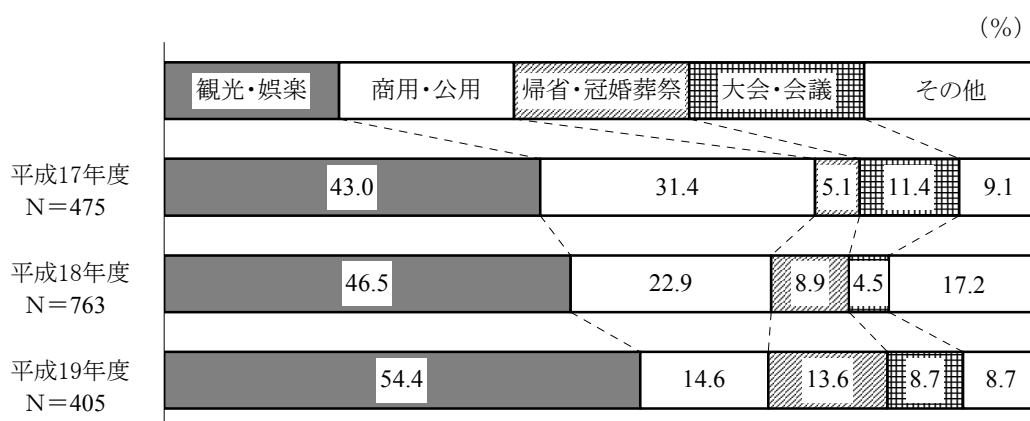


図 2-2-2 宿泊客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-2-2 宿泊客の旅行目的（性別）

(単位：%)

旅行目的 性別	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
男性	17.9	10.1	4.8	6.8	3.9	5.8	24.2	11.1	8.2	7.2	100.0
女性	20.9	10.7	13.6	5.1	5.6	2.8	4.0	16.4	9.6	11.3	100.0
全体	19.8	9.9	8.9	6.4	5.2	4.2	14.6	13.6	8.7	8.7	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」を目的として訪れた宿泊客（220人）の名古屋を選んだきっかけとしては、「雑誌・新聞をみて」（23.6%）が最も多く、次いで「ホームページの情報」（20.8%）、「以前に来て良かったから」（19.3%）、「テレビ・ラジオ番組の情報」（13.2%）、「友人・知人の推薦」（12.3%）となっている。

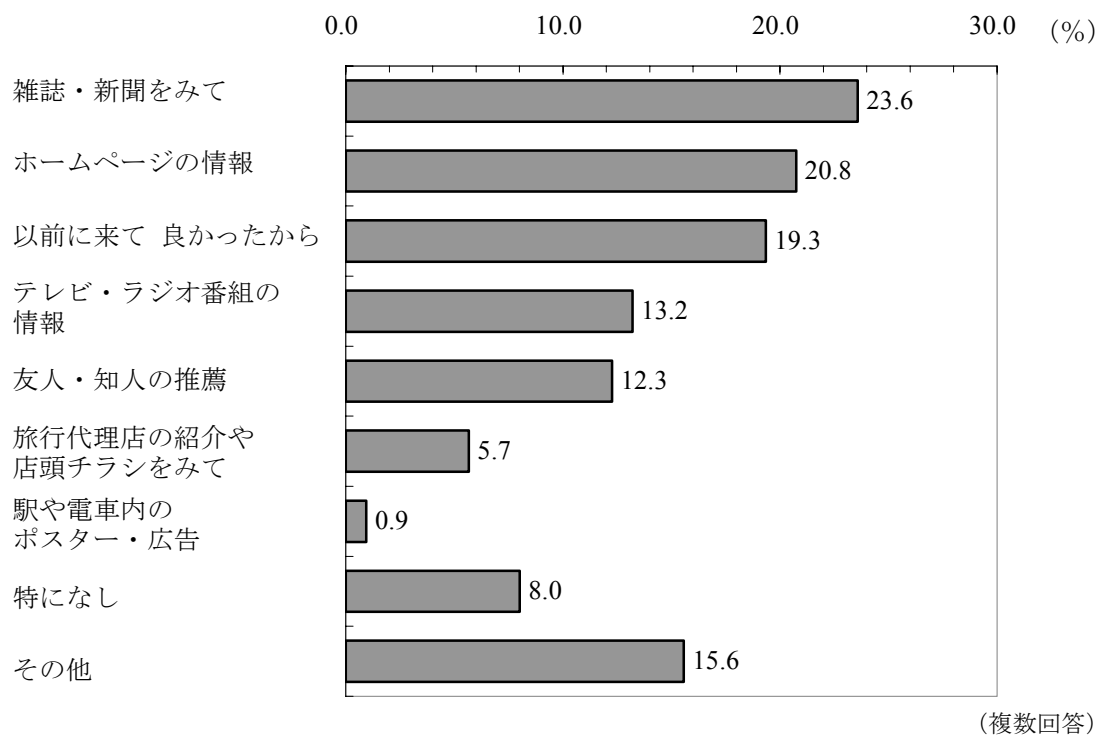


図 2-2-3 宿泊客の「観光・娯楽」で訪れたきっかけ

c. 訪問する主な観光施設

観光施設等を訪問するとした回答者は、405 人中 304 人（75.1%）であり、全体では「名古屋城」が 28.9%と最も多く、次いで「名古屋港水族館」（16.0%）、「イタリア村」（14.3%）、「テレビ塔」（13.1%）、「熱田神宮」（12.8%）、「徳川美術館」（8.1%）、「徳川園」（7.7%）、「東山動植物園」（7.4%）となっている。

居住地別にみると、「東海」からの宿泊客では観光施設等を訪問する割合が 79.1%と高く、「名古屋城」（22.2%）、「イタリア村」（18.3%）、「名古屋港水族館」（17.6%）を訪れる割合が多い。一方、「東海以外」からの宿泊客では「名古屋城」（32.9%）を訪れる割合が高く、「熱田神宮」（14.9%）を訪れる割合も東海地域に比べ高い。

なお、宿泊客 1 人あたりの平均訪問施設数は 1.38 施設である。

表 2-2-3 宿泊客の訪問先

（単位：％）

訪問施設 地 域	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	東山動植物園	テレビ塔	名古屋港水族館	イタリア村	その他	なし	平均訪問施設数
東 海	22.2	3.9	5.2	9.2	8.5	9.2	9.2	13.7	17.6	18.3	26.8	20.9	1.44
東海以外	32.9	2.8	3.6	7.6	7.2	14.9	6.0	12.4	14.9	12.0	19.3	27.7	1.34
全 体	28.9	3.2	4.2	8.1	7.7	12.8	7.4	13.1	16.0	14.3	22.2	24.9	1.38

（複数回答）

注：平均訪問施設数の計算式：{訪れた施設の回答数及び訪れる予定の施設の回答数（「なし」の回答は除く）の合計数} / （全回答者数）

d. 旅行形態

全体では「友人・知人」が 34.7%と最も多く、「ひとり」は 27.7%で、「家族連れ」の割合は「家族（夫婦）」（16.5%）など合わせて 32.8%である。

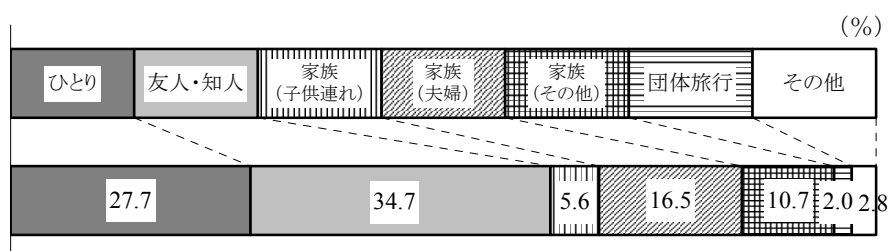


図 2-2-4 宿泊客の旅行形態

「パッケージ旅行」の割合は、全体では 11.6%となっている。

居住地別にみると「その他」からの宿泊客では 30.4%が、「関東」、「甲信越」、「近畿」からの宿泊客ではそれぞれ 1 割程度が、パッケージ旅行を利用している。

表 2-2-4 宿泊客のパッケージ旅行利用有無（居住地別）

（単位：％）

旅行形態		パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合 計
地 域				
東 海		4.8	95.2	100.0
	名古屋市	0.0	100.0	100.0
	愛知県(名古屋市を除く)	2.4	97.6	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	8.0	92.0	100.0
関 東		13.7	86.3	100.0
近 畿		9.5	90.5	100.0
北 陸		0.0	100.0	100.0
甲信越		11.1	88.9	100.0
その他		30.4	69.6	100.0
全 体		11.6	88.4	100.0

③旅行費用

a. 旅行予算

宿泊客の旅行予算は、「10,000～30,000 円未満」が 46.1%と最も多く、次いで「30,000～50,000 円未満」(27.8%)、「50,000 円以上」(15.3%)となっている。

居住地別にみると、「その他」からの宿泊客では「50,000 円以上」の割合が最も多い。そのほかの地域では「10,000～30,000 円未満」が最も多いものの、「東海」以外の地域では「30,000～50,000 円未満」も 3 割台みられ、遠方からの宿泊客では高額な予算となっている割合が多い。

なお、旅行予算の平均額は 32,493 円であり、昨年度 (31,153 円) と比較して 1,340 円の増額となっている。

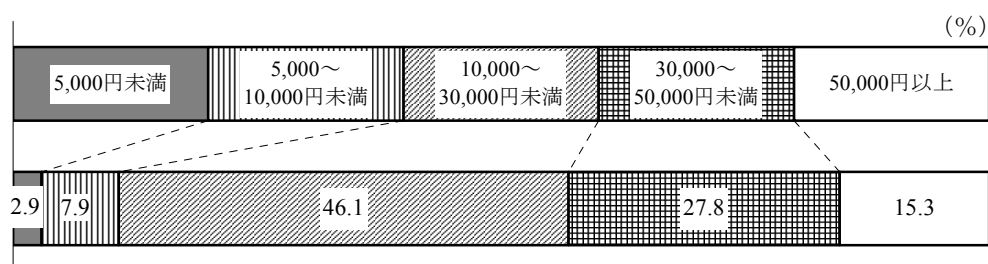


図 2-2-5 宿泊客の旅行予算

表 2-2-5 宿泊客の旅行予算（居住地別）

(単位：%)

地 域	旅行予算					合 計	平均額 (円)
	5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 30,000円 未満	30,000～ 50,000円 未満	50,000円 以上		
東 海	6.8	14.9	56.7	12.8	8.8	100.0	24,358
名古屋市	13.3	23.3	33.4	23.3	6.7	100.0	23,083
愛知県(名古屋市を除く)	7.3	19.5	61.0	7.3	4.9	100.0	20,427
岐阜県・三重県・静岡県	3.9	9.1	63.6	11.7	11.7	100.0	26,948
関 東	1.0	5.0	40.5	38.6	14.9	100.0	35,099
近 畿	0.0	4.8	47.6	38.1	9.5	100.0	32,262
北 陸	0.0	6.7	53.3	33.3	6.7	100.0	29,500
甲信越	0.0	0.0	55.6	33.3	11.1	100.0	32,778
その他	0.0	0.0	20.4	38.9	40.7	100.0	50,185
全 体	2.9	7.9	46.1	27.8	15.3	100.0	32,493

注：平均額の計算式：{(2,500 円) × (「5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000～50,000 円未満」の回答者数) + (75,000 円) × (「50,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

b. 名古屋市内予算

宿泊客に名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、「20,000～30,000 円未満」(31.5%)、「10,000～20,000 円未満」(31.3%)が多く、以下「30,000～50,000 円未満」(14.6%)、「50,000 円以上」(10.4%)、「5,000～10,000 円未満」(9.8%)となっており、平均額は 22,154 円である。

居住地別にみると、平均額は、「東海」、「関東」、「北陸」からの宿泊客では約 20,000 円であり、「近畿」(26,571 円)、「その他」(28,469 円)からの宿泊客では消費額は高額となっている。

なお、平均額は、昨年度 (24,223 円) と比較して 2,069 円の減額となっている。

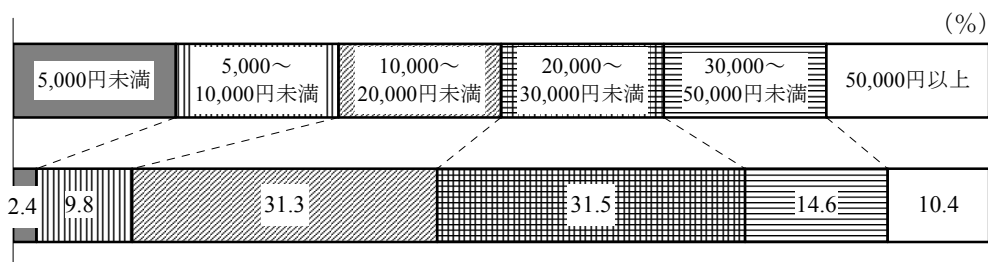


図 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算

表 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算（居住地別）

(単位：％)

旅行予算 地 域	5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 20,000円 未満	20,000～ 30,000円 未満	30,000～ 50,000円 未満	50,000円 以上	合 計	平均額 (円)
東 海	5.3	11.4	31.1	30.3	13.6	8.3	100.0	19,871
名古屋市	11.1	18.5	26.0	22.2	11.1	11.1	100.0	20,685
愛知県（名古屋市を除く）	2.9	8.8	29.4	41.2	11.8	5.9	100.0	18,559
岐阜県・三重県・静岡県	4.2	9.9	33.7	28.2	15.5	8.5	100.0	20,190
関 東	1.1	13.5	35.9	29.2	12.4	7.9	100.0	20,489
近 畿	0.0	8.6	31.4	25.7	14.3	20.0	100.0	26,571
北 陸	0.0	0.0	40.0	46.7	13.3	0.0	100.0	20,333
甲信越	0.0	0.0	57.1	42.9	0.0	0.0	100.0	16,857
その他	0.0	2.0	20.4	38.8	20.4	18.4	100.0	28,469
全 体	2.4	9.8	31.3	31.5	14.6	10.4	100.0	22,154

c. 市内交通費

宿泊客の市内交通費は、全体では「1,000～3,000 円未満」が 44.0%と最も多く、次いで「1,000 円未満」(24.4%)、「3,000～5,000 円未満」(13.5%)、「5,000 円以上」(9.3%)、「交通費はかからない」(7.7%) となっている。

居住地別にみると、「名古屋市」居住の宿泊客では「1,000 円未満」が最も多く、そのほかの地域では「1,000～3,000 円未満」が最も多い。「北陸」、「甲信越」、「その他」からの宿泊客では「3,000 円以上」の割合も比較的多い。

なお、市内交通費の平均額は 2,264 円であり、昨年度 (2,440 円) と比較して 176 円の減額となっている。

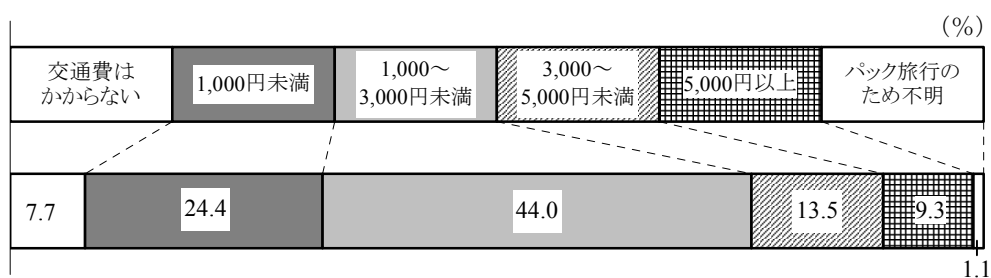


図 2-2-7 宿泊客の市内交通費

表 2-2-7 宿泊客の市内交通費（居住地別）

(単位：％)

市内交通費		交通費は かからない	1,000円 未満	1,000～ 3,000円 未満	3,000～ 5,000円 未満	5,000円 以上	パック旅 行のため 不明	合 計	平均額 (円)
地 域									
東 海		7.4	36.5	44.6	6.1	4.7	0.7	100.0	1,684
	名古屋市	6.7	53.4	33.3	3.3	0.0	3.3	100.0	1,103
	愛知県(名古屋市を除く)	2.4	39.0	51.3	4.9	2.4	0.0	100.0	1,598
	岐阜県・三重県・静岡県	10.4	28.6	45.4	7.8	7.8	0.0	100.0	1,948
関 東		7.0	22.0	42.0	21.0	8.0	0.0	100.0	2,390
近 畿		4.8	9.5	59.5	16.7	7.1	2.4	100.0	2,500
北 陸		0.0	13.3	46.7	13.3	26.7	0.0	100.0	3,533
甲信越		0.0	25.0	37.5	25.0	12.5	0.0	100.0	2,813
その他		14.5	10.9	34.6	18.2	18.2	3.6	100.0	2,943
全 体		7.7	24.4	44.0	13.5	9.3	1.1	100.0	2,264

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「交通費はかからない」の回答者数) + (500 円) × (「1,000 円未満」の回答者数) + (2,000 円) × (「1,000～3,000 円未満」の回答者数) + (4,000 円) × (「3,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000 円以上」の回答者数)} / {(全回答者数) - (「パック旅行のため不明」の回答者数)}

d. 市内での土産代

市内で土産を「購入する」割合は 74.7%であり、購入額は「2,000～5,000 円未満」が 32.6%と最も多く、以下「2,000 円未満」(19.5%)、「5,000～10,000 円未満」(18.4%)、「10,000 円以上」(4.2%) となっている。

居住地別にみると、「購入しない」と回答した割合は、「名古屋市」(62.2%)、「愛知県(名古屋市を除く)」(46.3%) 居住の宿泊客では多く、遠方からの宿泊客の方が土産を購入している割合は多い。

購入額としては、「北陸」、「その他」の地域からの宿泊客では「5,000～10,000 円未満」が最も多く、平均額は高い。

なお、土産代の平均額は 3,561 円である。昨年度と比較すると購入する割合(昨年度 72.5%)は微増しているものの、平均額(同 3,971 円)は 410 円の減額となっている。

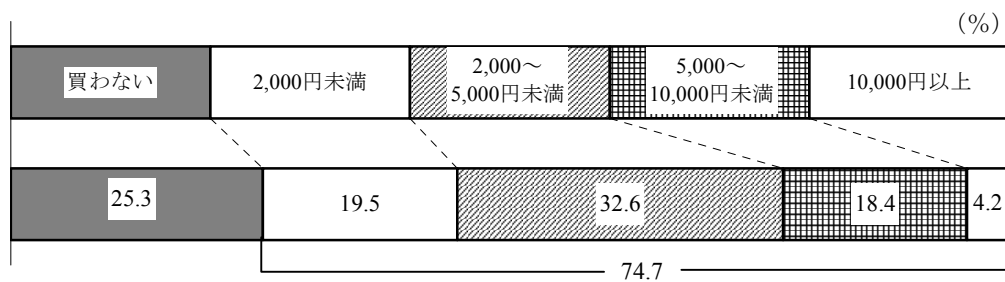


図 2-2-8 宿泊客の市内での土産代

表 2-2-8 宿泊客の市内での土産代（居住地別）

(単位：%)

地 域	土産代	買わない	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000円 以上	合 計	平均額 (円)
東 海		39.9	22.3	27.7	10.1	0.0	100.0	1,953
	名古屋市	62.2	10.3	17.2	10.3	0.0	100.0	1,483
	愛知県(名古屋市を除く)	46.3	22.0	19.5	12.2	0.0	100.0	1,817
	岐阜県・三重県・静岡県	28.2	26.9	35.9	9.0	0.0	100.0	2,199
関 東		25.7	20.8	35.7	15.8	2.0	100.0	3,040
近 畿		7.1	23.8	47.6	16.7	4.8	100.0	4,107
北 陸		13.3	6.7	20.0	46.7	13.3	100.0	6,933
甲信越		22.2	11.1	44.5	22.2	0.0	100.0	3,333
その他		7.1	10.7	32.1	37.6	12.5	100.0	6,545
全 体		25.3	19.5	32.6	18.4	4.2	100.0	3,561

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「買わない」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出は、全体では「2,000～5,000 円未満」が 36.2%と最も多く、次いで「5,000～10,000 円未満」(29.0%)、「10,000～30,000 円未満」(17.0%)、「2,000 円未満」(14.9%)となっている。

居住地別にみると、「北陸」と「甲信越」からの宿泊客では「5,000～10,000 円未満」が最も多い。

なお、食事代の平均額は 7,844 円であり、昨年度 (7,860 円) と比較して 16 円の減額となっている。

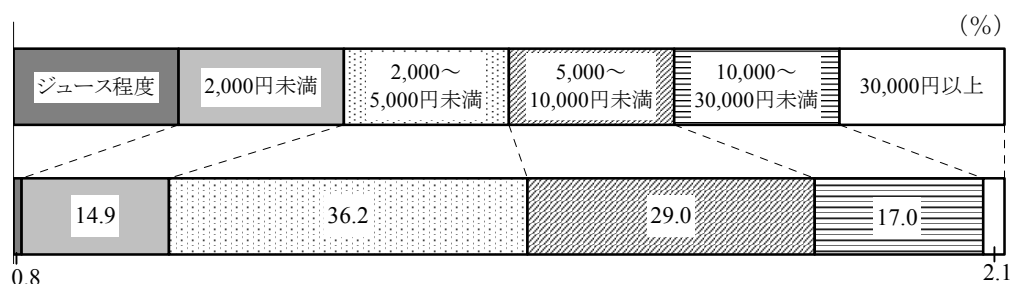


図 2-2-9 宿泊客の市内での食事代

表 2-2-9 宿泊客の市内での食事代（居住地別）

(単位：%)

市内食事代		ジュース 程度	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 30,000円 未満	30,000円 以上	合 計	平均額 (円)
地 域									
東 海		1.4	19.7	38.7	25.2	14.3	0.7	100.0	6,571
	名古屋市	3.3	20.0	40.0	16.7	20.0	0.0	100.0	6,850
	愛知県（名古屋市を除く）	2.4	17.1	43.9	29.3	7.3	0.0	100.0	5,366
	岐阜県・三重県・静岡県	0.0	21.1	35.5	26.3	15.8	1.3	100.0	7,112
関 東		1.0	8.9	36.6	32.7	17.8	3.0	100.0	8,574
近 畿		0.0	12.2	36.6	31.7	14.6	4.9	100.0	8,659
北 陸		0.0	6.7	33.3	46.7	13.3	0.0	100.0	7,400
甲信越		0.0	12.5	12.5	50.0	25.0	0.0	100.0	9,313
その他		0.0	14.5	32.8	25.5	23.6	3.6	100.0	9,382
全 体		0.8	14.9	36.2	29.0	17.0	2.1	100.0	7,844

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「ジュース程度」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

f. 宿泊代

1泊あたりの宿泊代としては、「5,000～15,000 円未満」が 66.0%を占めていて、次いで「15,000～30,000 円未満」(22.0%)となっている。

どの地域においても「5,000～15,000 円未満」が最も多い。

なお、1泊あたりの宿泊代の平均額は 13,576 円であり、昨年度 (13,046 円) と比較して 530 円の増額となっている。

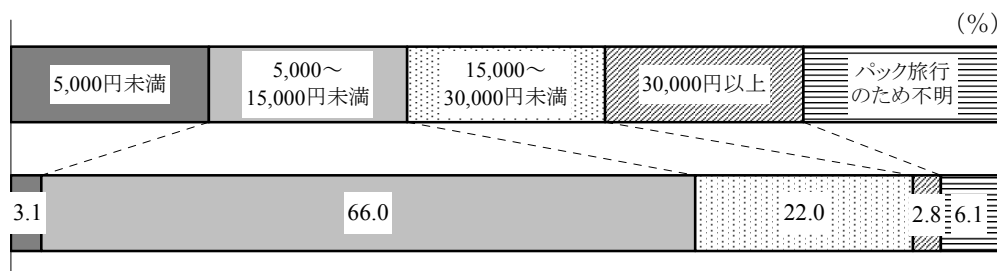


図 2-2-10 宿泊客の宿泊代

表 2-2-10 宿泊客の宿泊代 (居住地別)

(単位: %)

市内宿泊代 地 域		5,000円 未満	5,000～ 15,000円 未満	15,000～ 30,000円 未満	30,000円 以上	パック旅行 のため不明	合 計	平均額 (円)
東 海		3.0	68.6	22.4	3.0	3.0	100.0	13,577
	名古屋市	8.0	64.0	24.0	4.0	0.0	100.0	13,600
	愛知県（名古屋市を除く）	0.0	85.7	14.3	0.0	0.0	100.0	11,786
	岐阜県・三重県・静岡県	2.7	62.1	25.7	4.1	5.4	100.0	14,464
関 東		4.0	64.2	24.8	2.0	5.0	100.0	13,568
近 畿		4.9	65.9	24.4	2.4	2.4	100.0	13,500
北 陸		0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	100.0	12,500
甲信越		12.5	75.0	0.0	0.0	12.5	100.0	8,929
その他		0.0	55.8	19.2	3.8	21.2	100.0	14,512
全 体		3.1	66.0	22.0	2.8	6.1	100.0	13,576

注: 平均額の計算式: $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円未満」の回答者数}) + (10,000 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～15,000 円未満」の回答者数}) + (22,500 \text{ 円}) \times (\text{「15,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000 円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「バック旅行のため不明」の回答者数})\}$

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

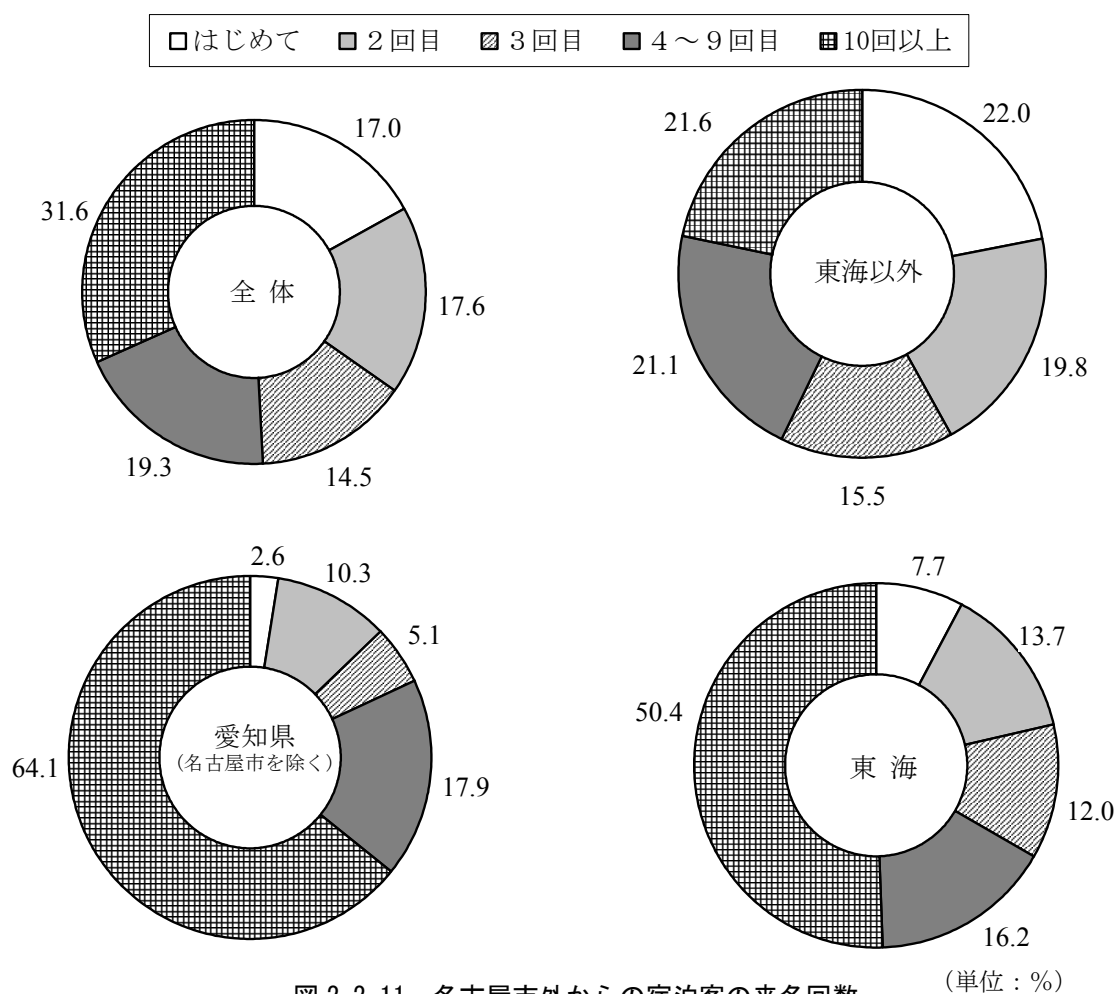
居住地が名古屋市の宿泊客 374 人の来名回数としては、「10 回以上」の割合が 31.6%と最も多く、次いで「4～9 回目」（19.3%）、「2 回目」（17.6%）となっていて、今回「はじめて」の割合は 17.0%である。

居住地別にみると、「東海」では「10 回以上」（50.4%）が半数を占め、「はじめて」の割合は 7.7%であるが、「東海以外」からの宿泊客では 22.0%が今回「はじめて」の来名である。

表 2-2-11 名古屋市内からの宿泊客の来名回数

(単位：%)

地 域	回 数	はじめて	2 回目	3 回目	4～9 回目	10回以上	合 計
東 海		7.7	13.7	12.0	16.2	50.4	100.0
愛知県（名古屋市を除く）		2.6	10.3	5.1	17.9	64.1	100.0
岐阜県・三重県・静岡県		10.3	15.4	15.4	15.4	43.5	100.0
東海以外		22.0	19.8	15.5	21.1	21.6	100.0
全 体		17.0	17.6	14.5	19.3	31.6	100.0



⑤交通機関

居住地が名古屋市の宿泊客の名古屋市までの主な交通手段は、「JR」が最も多く 63.1%を占めている。次いで「自家用車」(20.7%)、「名鉄電車」(10.2%)、「近鉄電車」(7.4%)、「航空機」(7.1%) となっている。

居住地別にみると、「愛知県」からの宿泊客では「名鉄電車」(41.5%)、「三重県」からの宿泊客では「近鉄電車」(61.9%) が最も多く、また、「岐阜県」からの宿泊客では「自家用車」(45.5%) が比較的多い。

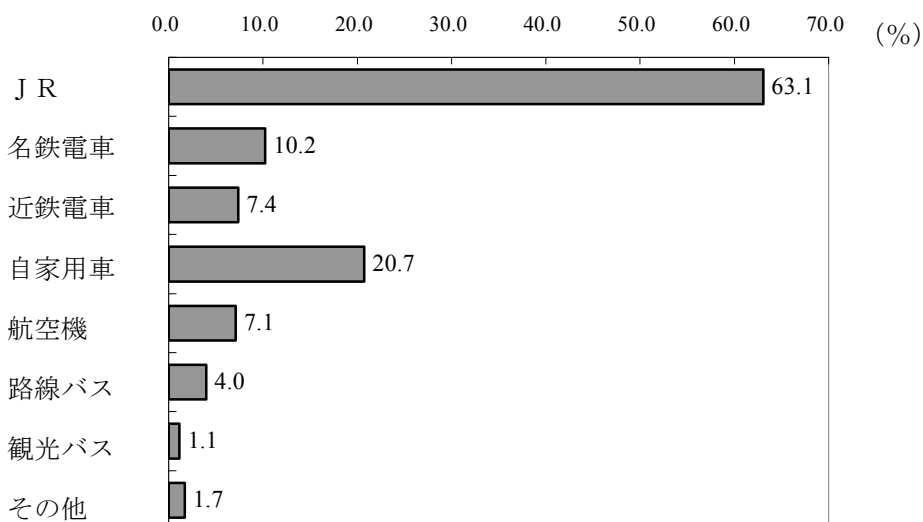
旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れの家族」では「自家用車」(59.1%) が最も多い。

表 2-2-12 名古屋市の外からの宿泊客の交通機関（居住地別・旅行形態別）

(単位：%)

交通機関		J R	名鉄電車	近鉄電車	自家用車	航空機	路線バス	観光バス	その他	合計
地域・旅行形態										
地域	東 海	51.3	16.8	10.9	26.9	0.0	6.7	0.8	0.0	113.4
	愛知県（名古屋市を除く）	41.5	41.5	0.0	29.3	0.0	4.9	0.0	0.0	117.2
	岐阜県	54.5	9.1	0.0	45.5	0.0	4.5	0.0	0.0	113.6
	三重県	28.6	0.0	61.9	4.8	0.0	4.8	4.8	0.0	104.9
	静岡県	74.3	2.9	0.0	25.7	0.0	11.4	0.0	0.0	114.3
	東海以外	69.1	6.5	5.7	17.8	10.9	2.6	1.3	2.6	116.5
旅行形態	ひとり	74.4	8.9	6.7	6.7	5.6	4.4	0.0	4.4	111.1
	友人・知人	63.8	15.5	8.6	20.7	4.3	2.6	0.9	0.0	116.4
	家									
	幼児・小学生連れ	36.4	9.1	0.0	59.1	4.5	0.0	0.0	0.0	109.1
	夫婦	61.9	4.8	6.3	22.2	11.1	7.9	0.0	1.6	115.8
	その他	58.5	7.3	7.3	29.3	7.3	0.0	0.0	2.4	112.1
	団体旅行	33.3	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	133.3
	その他	50.0	12.5	12.5	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	150.0
全 体		63.1	10.2	7.4	20.7	7.1	4.0	1.1	1.7	115.3

(複数回答)



(複数回答)

図 2-2-12 名古屋市の外からの宿泊客の交通機関

⑥名古屋以外の訪問地

居住地が名古屋市外の宿泊客（374 人）のうち、「名古屋市以外にも訪問する」という回答が 123 人（32.9%）あった。その方たちの訪問地としては、「明治村・犬山」（35.0%）が最も多く、「下呂・高山」（29.3%）、「知多・常滑・セントレア」（28.5%）、「伊勢・志摩」（28.5%）、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」（26.0%）が 2 割台後半で続き、「岐阜・関ヶ原」（18.7%）、「豊田・岡崎・足助」（17.9%）、「多治見・恵那・中津川」（13.8%）、「蒲郡・西浦・三谷」（12.2%）、「豊橋・伊良湖」（10.6%）は 1 割台となっている。

表 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の名古屋市以外の訪問地

（単位：％）

訪問地	明治村・犬山	下呂・高山	知多・常滑・セントレア	伊勢・志摩	長島温泉・湯の山・鈴鹿	岐阜・関ヶ原	豊田・岡崎・足助	多治見・恵那・中津川	蒲郡・西浦・三谷	豊橋・伊良湖	豊川・鳳来寺	瀬戸・小原	その他
	35.0	29.3	28.5	28.5	26.0	18.7	17.9	13.8	12.2	10.6	6.5	4.1	5.7

（複数回答）

⑦旅行日程

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、旅行日程が、「2 日」である割合は 75.6%と最も多く、次いで「3 日」が 19.4%、「4 日」が 2.6%、「5 日以上」が 2.4%となっている。

居住地別にみると、「北陸」、「東海」からの宿泊客では「2 日」の割合は 9 割以上を占めている。一方、「3 日以上」の割合は、「その他」からの宿泊客では 44.7%、「関東」（30.1%）、「近畿」（26.8%）からの宿泊客では 3 割程度である。

表 2-2-14 名古屋市外からの宿泊客の旅行日程

（単位：％）

日程	2 日	3 日	4 日	5 日以上	合 計
地 域					
東 海	90.7	9.3	0.0	0.0	100.0
関 東	69.9	23.3	2.9	3.9	100.0
近 畿	73.2	26.8	0.0	0.0	100.0
北 陸	93.3	6.7	0.0	0.0	100.0
甲信越	77.8	22.2	0.0	0.0	100.0
その他	55.3	30.4	10.7	3.6	100.0
全 体	75.6	19.4	2.6	2.4	100.0

⑧市内での宿泊日数

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市内での宿泊日数は、「1泊」が77.5%と多く、「2泊」が19.8%、「3泊」が1.8%、「4泊以上」が0.9%となっている。

居住地別にみると、「東海」居住の宿泊客では名古屋市内で「1泊」の割合が88.8%を占める。一方、名古屋市内で「2泊以上」する割合は、「その他」からの宿泊客では39.3%、そのほかの地域では20～25%となっており、遠方からの宿泊客では名古屋市内に長く滞在する割合が多い。

表 2-2-15 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数

(単位：%)

地 域	市内宿泊数	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊以上	合 計
東 海		88.8	11.2	0.0	0.0	100.0
関 東		75.2	20.8	3.0	1.0	100.0
近 畿		76.2	23.8	0.0	0.0	100.0
北 陸		80.0	20.0	0.0	0.0	100.0
甲信越		77.8	22.2	0.0	0.0	100.0
その他		60.7	32.1	3.6	3.6	100.0
全 体		77.5	19.8	1.8	0.9	100.0

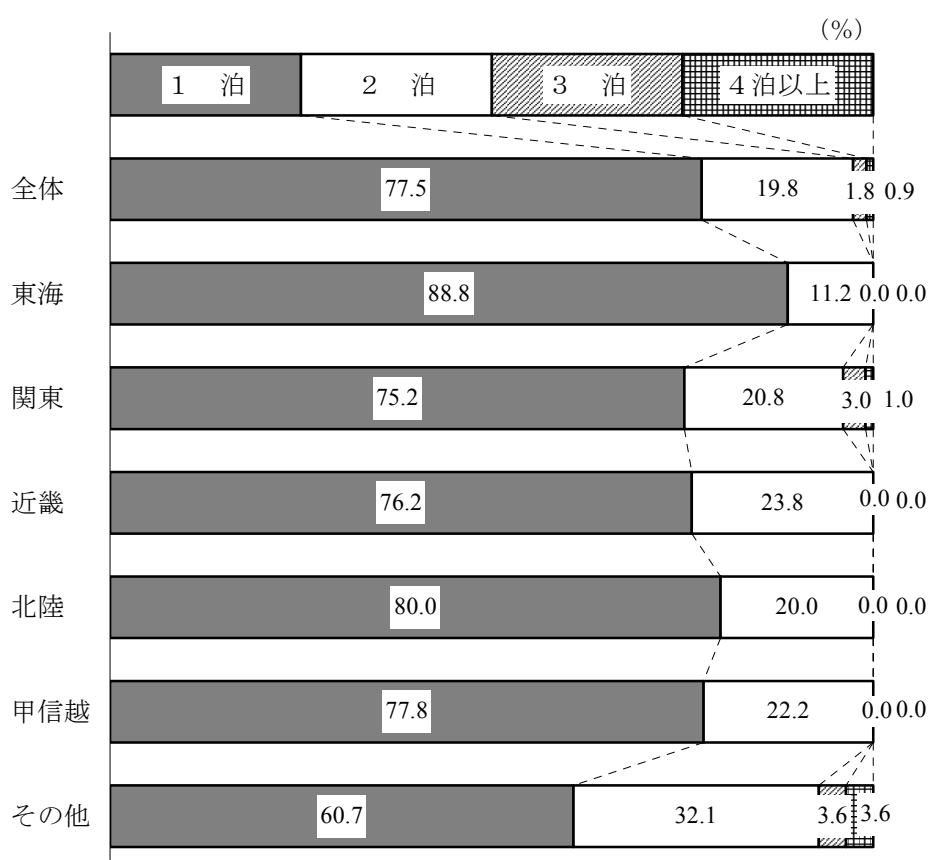


図 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数